

1. 事業構想評価

(1) 事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	達成状況												備考			
					1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目				5年目		
					目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		目標値	実績値	達成率
安定供給体制の整備推進	間伐材生産	間伐材生産経費(円/㎡)の減少率	R1	R4	-	-	-	1			3			4			-			
	高性能林業機械等の整備	労働生産性(㎡/人・日)の増加率	H30		11	35	318%	12	40	333%	13			14			15			
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(㎡)の増加率		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量(㎡/百万円)		R1	2	5	250%	2			2			2			-		
		木造化(補助率15%以内)			H30	4	7	175%	4	7	175%	4			4			4		
		木質化			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備			事業費当たりの木質バイオマス利用量(㎡/百万円)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		木質バイオマス供給施設整備				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木質バイオマスエネルギー利用施設整備		-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注)

- 1 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 3 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 4 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。
- 5 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。
なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。

2. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度 (西暦)	数値	単位	年度 (西暦)	実績	達成率 (%)	年度 (西暦)	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	素材生産量(増加率)	276,000	m3	H31 (2019)	300,000	m3	R6 (2024)				増加率:8.7%
		素材生産性(目標値及び増加率)	5.7	m3/人日		7.2	m3/人日					増加率:26.3%
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木造公共建築物等の整備	地域材利用量	0.278	千m3	H31 (2019)	0.311	千m3	R6 (2024)				増加量:0.033千m3 増加率:12%
		都道府県全体の低層公共建築物の木造率	32	%		32	%					
		都道府県全体の低層公共建築物の木造率の伸び率	69	%		69	%					
		都道府県及び市町村が整備する低層公共建築物の木造率	12	%		12	%					
		都道府県及び市町村が整備する低層公共建築物の木造率の伸び率	8	%		8	%					
自立的林業経営活動の推進	自立的経営活動推進											
山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進	説明会等の開催数	0	回	H31 (2019)	6	回	R2 (2020)	13回	217%	R2 (2020)	
森林資源の保護	森林資源保護の推進											
	森林環境保全の推進	保安林指定の推進	1,037	百ha	H31(H29) (2019)	1,064	百ha	R2 (2020)	1,058	99%	R2 (2020)	「令和2年度保安林又は保安林施設地区に関する事務の報告書について」(R3.3.31現在)
マーケティング力ある林業担い手の育成	出荷ロットの大規模化等の推進											
	持続的な林業経営の確立											
	人材の確保・育成・定着	認定事業体数	19	事業体	H31 (2019)	20	事業体	R2 (2020)	19	95%	R2 (2020)	県内認定事業体数
		素材生産性(目標値)	5.7	m3/人日		6.4	m3/人日		5.9	92%		県内森林組合のR2生産性実績
	労働安全の確保	労働災害発生件数(減少率)	23	件		22	件		21	95%		労働者死傷病報告(厚生労働省)
素材生産性(目標値)		5.7	m3/人日	6.4		m3/人日	5.9		92%	県内森林組合のR2生産性実績		
林業経営体の育成	林業経営体育成対策(機械リース支援)	素材生産量(目標値)	44,919	m3		H31 (2019)	55,800		m3	R2 (2020)		45,733
		素材生産性(目標値)	5.1	m3/人日	6.1		m3/人日	6.2	102%		達成状況報告 令和3年7月20日	

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進		
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知	山地災害危険地区の把握を行うとともに、山地災害に関する講習会等を実施することにより、県民の山地防災に対する意識向上が図られた。	近年の豪雨災害により、集落単位での防災意識の向上や被災時の協力体制が重要とされています。については、更なる周知を図るため、集落単位等の中小規模な講習会で開催回数を増加させていく必要がある。
森林資源の保護	【森林環境保全の推進】 保安林を中心に巡視活動を行うとともに「やまぐち農林水産業成長産業化行動計画」等の目標に基づき保安林の指定を推進した。保安林の指定面積は、目標値の78%であり、更なる指定の推進が必要である。	【森林環境保全の推進】 森林の公益的機能の維持増進のため、引き続き保安林等の巡視活動に取り組むとともに、機能の発揮が求められる森林について計画的に保安林の指定を推進する。
マーケティング力ある林業担い手の育成	林業事業者への面談や情報提供等により、林業事業者の育成を行ったが目標達成には至らなかった。 また、林業認定事業者を中心とした巡回指導の継続や安全な伐木を行う指導者の育成研修を行ったことから、労働災害発生件数を減少することができた。	更なる林業認定事業者の育成・確保を行う。 また、引き続き巡回指導の実施と安全な伐木を行う指導者の育成研修により、労働災害の減少に努める。
林業経営体の育成	リースによる高性能林業機械の導入支援により、素材生産性は向上し目標を達成したが、素材生産量は現状値から微増に留まった。	引き続き素材生産システムの効率化に必要な高性能林業機械のリースによる導入を支援し、素材生産量の増大と素材生産性の向上を図る。
木材利用及び木材産業体制等の整備推進		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。

3. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備考	
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)		
木材利用 及び木材 産業体制 等の整備 推進	木造公共 建築物等 の整備	木造公共 施設整備	長門市	①公共施設 ②木造公共施設 ③日置保育園 日置ボランティアセンター	平成30年度	施設利用者数(人)	2,530	2,530				上段:計画	JAS構造材 87.2146m3 地域材及び 合法木材 185.3720m3 川上との連 携(無)
						0 → 2,530	2,186	2,293			中段:実績		
							86%	91%			下段:達成率		
						単位面積当たりの 地域材利用量 (m3/m2)	0.181	0.181			上段:計画		
						0 → 0.181	0.185	0.185			中段:実績		
							102%	102%			下段:達成率		
						単位面積当たりの事業費 (円/m2)	276,400	276,400			上段:計画		
						0 → 276,400	248,260	248,260			中段:実績		
							90%	90%			下段:達成率		
						CLT利用量 (m3)	0	0			上段:計画		
0 → 0	0	0			中段:実績								
	-	-			下段:達成率								
安定供給 体制の整 備推進	高性能林 業機械等 の再整備	林業機械 作業シス テム整備	(有)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③ロングリーチクラブ	平成30年度	素材生産量 (m3)	5,300	6,000				上段:計画	
						3,823 → 8,400	7,875	10,729			中段:実績		
							149%	179%			下段:達成率		
						素材生産性(m3/人・日)	7.0	7.0			上段:計画		
						6 → 8	8.1	8.4			中段:実績		
							116%	120%			下段:達成率		
						稼働時間 (時間)	231	432			上段:計画		
											中段:実績		
											下段:達成率		
安定供給 体制の整 備推進	高性能林 業機械等 の再整備	林業機械 作業シス テム整備	(有)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③フォワード	平成30年度	素材生産量 (m3)	5,300	6,000				上段:計画	
						3,823 → 8,400	7,875	10,729			中段:実績		
							149%	179%			下段:達成率		
						素材生産性(m3/人・日)	7.0	7.0			上段:計画		
						6 → 8	8.1	8.4			中段:実績		
							116%	120%			下段:達成率		
						稼働時間 (時間)	468	471			上段:計画		
											中段:実績		
											下段:達成率		

林業経営 体の育成	林業経営 体育成対 策(林業 機械リ ース)		大林産業(株)	フォワーダ	平成30年度	素材生産量 (m3) 17,544 → 23,600 稼働時間 (時間)	23,600 18,633 79% 965	23,600 16,515 70% 628			上段:計画 中段:実績 下段:達成率 上段:計画 中段:実績 下段:達成率
林業経営 体の育成	林業経営 体育成対 策(林業 機械リ ース)		大林産業(株)	グラップル	平成30年度	素材生産量 (m3) 17,544 → 23,600 稼働時間 (時間)	23,600 18,633 79% 1,318	23,600 16,151 70% 1,082			上段:計画 中段:実績 下段:達成率 上段:計画 中段:実績 下段:達成率
林業経営 体の育成	林業経営 体育成対 策(林業 機械リ ース)		大林産業(株)	プロセッサ	平成30年度	素材生産量 (m3) 17,544 → 23,600 稼働時間 (時間)	23,600 18,633 79% 1,375	23,600 16,515 70% 1,371			上段:計画 中段:実績 下段:達成率 上段:計画 中段:実績 下段:達成率
林業経営 体の育成	林業経営 体育成対 策(林業 機械リ ース)		山口県東部 森林組合	グラップル	平成30年度	素材生産量 (m3) 23,000 → 27,500 稼働時間 (時間)	23,800 21,182 89% 864	24,650 18,492 75% 1,323			上段:計画 中段:実績 下段:達成率 上段:計画 中段:実績 下段:達成率

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考	
							1年目 (令和2年度)	2年目 (令和3年度)	3年目 (令和4年度)	4年目 (令和5年度)	目標年度 (令和6年度)		
木材利用 及び木材 産業体制 等の整備 推進	木造公共 建築物等 の整備	木造公共 施設整備	学校法人 片山学園	①公共施設 ②木造公共施設 ③小郡幼稚園 1棟	令和元年度	施設利用者数(人)	9,040					上段:計画	JAS構造材 7.7480m3 地域材及び合法 木材 557.5678m3 クリーンウッド法登 録状況 (株)安成工務店 (JPIC-CLW- II59) 川上との連携(有)
						0 → 9,040	18,460				中段:実績		
						204%					下段:達成率		
						単位面積当たりの 地域材利用量 (m3/m2)	0.257				上段:計画		
						0 → 0.257	0.257				中段:実績		
						100%					下段:達成率		
						単位面積当たりの事業費 (円/m2)	27,515				上段:計画		
0 → 27,515	27,515				中段:実績								
100%					下段:達成率								
CLT利用量 (m3)	0				上段:計画								
0 → 0	0				中段:実績								
											下段:達成率		
安定供給 体制の整 備推進	高性能林 業機械等 の再整備	林業機械 作業シス テム整備	(有)野原工業	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③フェラーバンチャ	令和元年度	素材生産量 (m3)	6,600					上段:計画	
						6,241 → 8,150	4,504				中段:実績		
						68%					下段:達成率		
						素材生産性(m3/人・日)	7.7				上段:計画		
						7.1 → 10.0	5.6				中段:実績		
						73%					下段:達成率		
						稼働時間 (時間)					上段:計画		
	1,400				下段:実績								
稼働日数 (日)					上段:計画								
	268				下段:実績								
林業経営 体の育成	林業経営 体育成対 策(林業 機械リー ス)	山口県東部森林組 合	ロングリーチグラブ ル	令和元年度	素材生産量 (m3)	24,700					上段:計画		
					23,000 → 27,600	18,492				中段:実績			
					75%					下段:達成率			
					素材生産性(m3/人・日)	4.66				上段:計画			
					4.48 → 5.38	5.60				中段:実績			
					120%					下段:達成率			
					稼働時間 (時間)					上段:計画			
	1,008				下段:実績								
稼働日数(日)					上段:計画								
	144				下段:実績								

林業経営 体の育成	林業経営 体育成対 策(林業 機械リ ース)	大林産業(株)	グループ	令和元年度	素材生産量 (m3)	24,100					上段:計画
					18,219 → 24.100	16,515					中段:実績
						69%					下段:達成率
					素材生産性(m3/人・日)	6.9					上段:計画
	5.60 → 6.90	5.6		81%	中段:実績						
											下段:達成率
					稼働時間 (時間)	1,168					上段:計画
					稼働日数(日)	269					下段:実績
林業経営 体の育成	林業経営 体育成対 策(林業 機械リ ース)	(有)吉岡土建	ハーベスタ	令和元年度	素材生産量 (m3)	7,000					上段:計画
					3,700 → 8.600	10,726					中段:実績
						153%					下段:達成率
					素材生産性(m3/人・日)	8.4					上段:計画
	6.00 → 8.60	8.4		100%	中段:実績						
											下段:達成率
					稼働時間 (時間)	158					上段:計画
					稼働日数(日)	47					下段:実績

(注)

- 「個別指標」の欄には、事業計画に記載した個別指標及び目標値を記載すること。
- 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績/各年度の目標値)を記載すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記載すること。年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記載すること。
- 報告年度については、要領第6の2の(2)又は第8の3に基づくこと。
- 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。
- 木造公共建築物等の整備については、個別指標の実績のほか、以下の項目をとりまとめて併せて報告すること。
 - 要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の④に係るJAS製材品の使用量、同表の7の(2)の⑤に係る地域材及び合法伐採木材の使用量を備考欄に記入するとともに、同表の7の(2)の⑥に係る本事業において整備する施設の建設工事を行う者のうち地域材の調達に関わる者のクリーンウッド法に基づく登録実施機関への登録状況(登録番号等)を記載すること。
 - 調査初年度から目標達成年度までにおいて、要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の⑧の木材利用を通じた社会的課題解決の指標の状況をとりまとめて添付すること。
- 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。
- 林業機械(リース含む。)については、個別指標の達成状況のほか、毎年度の機械の稼働時間及び稼働日数を備考欄に記載すること。
- 別表1のⅠの2の「10林業機械リース支援」の(2)の⑨の達成状況報告は、本様式により行い、施設等区分欄にはリース物件の林業機械名称を、個別指標(目標値)欄及び達成状況の目標年度欄にはリース期間満了年度の事業実施主体ごとの素材生産量及び素材生産性の計画値を記載すること。
- コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

(2) 収支実績

(山口県)

(単位:千円)

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考	
							運用開始年度	1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)		目標年度 (令和5年度)
高性能林業機械等の再整備	林業機械作業システム整備	(有)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③ロングリーテグラップル	平成30年度	収入	50,000	49,943	67,378	106,654				
					支出	45,500	45,186	84,369	101,373				
					収支差	4,500	4,757	-16,991	5,281				
					収入のうち 公的資金等								
高性能林業機械等の再整備	林業機械作業システム整備	(有)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③フォワーダ	平成30年度	収入	50,000	49,943	67,378	106,654				
					支出	45,500	45,186	84,369	101,373				
					収支差	4,500	4,757	-16,991	5,281				
					収入のうち 公的資金等								
メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考	
							運用開始年度	1年目 (令和2年度)	2年目 (令和3年度)	3年目 (令和4年度)	4年目 (令和5年度)	目標年度 (令和6年度)	
高性能林業機械等の再整備	林業機械作業システム整備	(有)野原工業	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③フェラーハンチャ	令和元年度	収入	74,535	69,065	40,179					
					支出	71,137	68,420	44,688					
					収支差	3,398	645	-4,509					
					収入のうち 公的資金等								

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

(1) 木材製材施設

(2) 集成材加工施設

(3) プレカット加工施設

(4) 丸棒加工施設

(5) 杭加工施設

(6) 木材加工施設

(7) 木材材質高度化施設

(8) 特用林産物生産施設

(9) 特用林産物加工流通施設

(10) 廃床等活用施設

(11) 木材集出荷販売施設

(12) 森林バイオマス再利用促進施設

(13) 木質エネルギー等利用促進施設

(14) 木質バイオマス供給施設

(15) 合・単板加工施設

(16) 品質向上・物流拠点施設 (21) コンテナ苗幼苗生産高度化施設等

(17) チップ加工施設

(18) 新しい木材活用のための加工供給施設

(19) 直交集成板加工施設

(20) コンテナ苗生産基盤施設等

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

イ 林業機械作業システム整備【素材生産型】により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

2 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)から(21)までを、1のイに該当する場合は機種を記載すること。

3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記載すること。(収入の内数)

4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記載すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記載すること。

5 「報告年度」は、要領第6の2の(2)に基づくこととし、実績を年度ごとに記載すること。

6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記載すること。

7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。

8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。

9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。